

ニプロ社製IoT保守支援サービスDiaXrs®の導入 ～機械室モニタリングとしての有用性～

I.背景と目的

当院では、透析液作成装置の遠隔監視を目的として、ニプロ社製IoT保守サービス【DiaXrs】（以下DiaXrs）を導入した。主に夜間及び休日の警報発生時の確認ツールとして活用しており、実際に経験した機器トラブル事例から有用性を検証したので報告する。

II.機能

1. 警報通知メール2. 遠隔データ監視3. ビデオ通話4. 保守点検記録簿作成。当院で、警報確認として主に活用している通知メール機能は、機械室装置からの警報発生時に、DiaXrsに登録してあるメールアドレスに警報内容が通知される。当院では臨床工学技士全員のアドレスを登録しており、通知を確認次第、SNS等を用い互いに連絡を取り合い対応に当たる体制を取っている。

III.事例

①始業前の液置換開始時、A粉末溶解装置より警報発生。粉末切り出し部の粉末固着が原因で一時的にA剤粉末が投入されなかった。
②非透析日の日曜夕方、RO装置より警報発生。受水槽のフロートスイッチ故障が原因で、原水の過剰供給により受水槽から水が溢れ、漏水センサーが検知した。
問題点
・通知直後に気付かなかった技士もいた。
・RO装置の警報内容をDiaXrsから確認することは出来ない。

IV.結語

検証の結果、DiaXrsは警報モニタリングシステムとして有用であると判断した。しかし、確実に通知に気付き対応にあたるには、スタッフ間の連携とSNSの活用、そして何よりもスタッフの意識改善が必要となる。